

医療・看護安全対策委員会情報 2007. 7月号 (NO.39)

「薬剤の取り違い」

薬剤の名称が類似していることによる取り違いが7件報告されています。

集計期間：2004年10月1日～2006年12月31日

投与すべき薬剤

取り違えた薬剤

アルマール錠	アマリール錠
アレロック錠	アレリックス錠
セフメタゾン静注用	注用セフマゾン
タキソール注射液	タキソテル注
タキソテル注	タキソール注射液
ファンガード点滴用	ファンギゾン
ラクテックD注	ラクテック注



その他にも、医療事故情報収集等事業の第7回報告書p64-65では、ヒヤリ・ハット事例の中から名称の類似が原因と考えられる主な薬剤を取り上げています。

各施設において取り違いが危惧される薬剤名を挙げ、注意喚起してみませんか。

—財団法人 日本医療機能評価機構「医療安全情報」No.4 2007年3月 より一部抜粋—
詳しくは、上記情報をご参照ください。

※長崎県看護協会ホームページで「医療・看護安全対策委員会情報」がご覧になれます。